

みんなで支える森林づくり佐久地域会議における意見等

佐久地域 (R2第2回)

1 令和2年度森林税活用事業の評価及び検証について

項目	区分(該当箇所等)	意見の内容
森林税事業全般 令和2年度森林づくり 県民税活用事業実績	減災防災、道路への倒木防止、河畔林等	・災害が大型化しているため、防災・減災の事業は重要。一層の取組強化が必要 ・想定外の自然災害を考えて里山の整備事業を加速することが急務だと思う。 必要なところを調査して、効率的に森林税を活用してもらいたい。
	地消地産による木の香くらしづくり	(子どもの居場所) ・もう少し幅広い施設で提案できるようにした方が良いかなと思います。多くの人が集まる商業用施設(例えばイオン)道の駅等。 親子や家族で触れられる機会も、心理的にも意味あるように思います。 (木づかい空間) ・オフィスや店舗等への取組み施設があまり周知されていないので、もう少し活用を促す積極的PRがあれば良いと思います。 ・多額な資金を使って素敵な空間が出来た。(佐久合庁) コロナ後には、この空間を有効に利活用する方法を考えて欲しい。
	森林セラピー推進(施設整備)	・佐久の森林セラピー基地の魅力向上に向けて大幅予算確保をお願いする。
	観光地等魅力向上森林景観整備事業	・R2年度実施箇所で、周辺観光施設から感謝の声があった。 非常に意義ある事業であり、引き続き実施できるよう予算の拡大を切に願う。
	みんなで支える森林づくり推進(PR)	・SDGSの取組みと合わせ事業アピールした方がよい。
令和2年度森林づくり推進 支援金事業の評価 及び検証	森林の里親促進	締結状況について ・大手や企業が私共の里山の為にどんな貢献、支援をして下さっているか、もっと広く周知する事が、豊かな森林という素晴らしい財産を持つ県民としての誇りが関心や保全意識に繋がっていくと思います。
		各自治体の皆様は、美しい森林を守る為、また地域の安全の為に努力を下さっている事、本当に感謝します。 また、南相木村、北相木村の試みはアイデアが素晴らしく自然と木への親しみがわかります。 幼少時の記憶は大人になっても失われる事なく、木を日常に使う習慣が自然に得られるので、このような試みを多く取り入れると良い。
		松くい虫被害木処理をすることにより、二次被害を防止できるとのこと、ぜひ継続してもらいたい。
		行った事業を市町村の広報等にわかりやすく知らせてほしい。 県のHPだけでは、見る人は少ないと思われる。
森林税事業全般		林業に携わる仕事は日本の将来のためにも大切な事だと思う。 林業で夢を持ちつつ生活が出来るようなバックアップ体制を、国や県で考えて欲しい。 そのために森林税が使われるようにも考えて頂きたい。
その他		県民税により、山・森が資源として県民に認知されてきていると感じます。 豊かな森を未来へつなぐたくさんの取組みに感謝しています。 急激な気候変動で森林の役割が増々重要になっているので、本事業の発展を望む。

2 その他

項目	意見の内容
その他	・薪によるエネルギー事業について とても良い取組みと思います。家庭と森林がつながることが期待できると思います。 ・森林の教育利用について 信州やまほいくで育まれた知識・感性が自然教育によりその後小中学校でも伸ばせる様に学校林の活用と子供達が日常的に利用できるよう整備されると、良いと感じました。
	ニュースでテレビ番組「逃走中」をもじって「清掃中」と称し、長野市内の清掃を楽しく行うイベントが放送されました。 企画の主は、大学生でした。イベントの企画もやっているようです。そういうところに依頼をして、里山の整備や利用を進められたら良いと思います。
	仕事柄様々な方に木の話や、住宅の建材に無垢材(県産材)をお勧めする機会が多いのですが、「無垢材って何ですか?」と問われることが多いです。 驚くことではありますが、このような小さなきっかけから、木や森林に興味や関心を持って頂けるよう努めていただこうと責務を感じています。